

放射線科画像診断報告書

(診療情報提供書)

患者ID	■■■■■	検査	MR	外来
NAME	■■■■■	依頼医	院内 婦人科 ■■■■■ 先生	
年齢	50Y	放射線科		
性別		備考	住所・電話番号・診断名	
検査日	2010年08月02日		紹介目的・既往歴・家族歴	

<臨床情報>

超音波上、子宮筋腫を疑う所見
悪性の可能性含め検討の御依頼

<画像所見>

骨盤部MRI

子宮筋層左側に47×62mmのT2強調画像低から高信号を呈する腫瘤の形成が認められ指摘されている子宮筋腫病変の所見と考えます。表面に浮腫性変化を疑わせる線状のT2強調画像高信号領域が認められ内部にひび割れ状の形態を疑わせるT2強調画像高信号領域が認められています。T1強調画像での信号変化は明らかではなく、出血の所見は明らかではありません。周囲筋層は比較的均一に認められています。積極的に悪性を疑わせる所見ではないと考えますが信号はやや多彩です。サイズ/性状について経時的変化フォローアップとして下さい。

正中後壁にも直径30mm大のT2強調画像低信号腫瘤が認められ多発子宮筋腫病変の所見と考えます。

J2はびまん性にやや厚く認められています。腺筋症も鑑別に考えます。婦人科症状加味して下さい。

左卵巣に15×27mm大の嚢胞性腫大を呈しています。所見は単房性でT1強調画像で筋肉と同等の信号を呈しています。単純性嚢胞を疑いますがサイズについてフォローアップとして下さい。

少量の腹水の貯留が認められています。

左股関節腹側に嚢胞構造が認められ滑液包の液貯留を疑います。右股関節腹側の少量の液貯留も同様の所見と考えます。炎症の活動性については臨床情報/CRPの所見も加味して下さい。

<Impression>

多発子宮筋腫を疑わせる所見が認められています。各病変に積極的に悪性を疑わせる所見は明らかではないと考えますが左側の病変はやや多彩な信号を呈しています。サイズ/性状についてフォローアップとして下さい。

J2はやや厚く認められています。臨床情報も加味して下さい。

左卵巣に嚢胞性腫大が認められますが単純性と考えます。

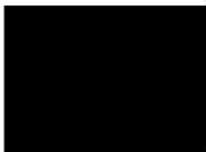
左右股関節腹側に滑液包の液貯留を疑わせる所見が認められています。炎症の

活動性については臨床情報／CRPの所見も加味して下さい。

別紙の参照画像をご覧下さい。

読影医: 土本 正 印 報告日: 2010/8/3

患者ID



検査日 2010年08月02日

外来

患者名

依頼医 院内 婦人科 [Redacted] 先生

NAME

備考

年齢 50Y

性別

検査 MR

参照画像

